学校番号	416

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	情報の表現と管理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	情報の表現と管理(実教出版)						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 情報を収集、整理、加工、表現するなどの活動を適切に行うために必要な基礎的な知識と技術を習得する
- 情報の表現と管理に情報手段や情報ツールを活用するために必要な基礎的な知識と技術を身に付けるとともに、自ら学ぶ態度を醸成する。

２　学習の到達目標

情報の表現と管理に関する基礎的な知識と技術を習得し、情報を目的に応じて適切に表現するとともに、管理し活用する能力と態度を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報社会に関心を持ち、情報社会の一員として主体的に参画していく態度を身につけている。	情報社会における自分自身の行動のあり方について、情報モラルの視点から、適切に判断し、行動することができる。	情報の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	コンピュータや情報通信ネットワークの仕組みを理解するとともに、情報社会を生きるための基礎的な知識を習得している。
評価方法	授業観察 授業プリント	授業観察 ワークシート レポート	授業観察 実技テスト レポート	授業観察 定期テスト 授業プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期中間考査まで	情報活用とメディア	・情報伝達の方法と種類を理解する ・個人間のコミュニケーションの技法の種類と特性を理解する ・集団で行われるコミュニケーション技法を理解する		○		○	b: 状況に応じたコミュニケーション手段を選択できる d: メディアの種類、特性、発達の過程を理解できる。 コミュニケーションの種類と特性を理解できる コミュニケーションの技法を理解できる。	プリント 授業観察
一学期期末考査まで	情報の表現(文章)	・分かりやすい文章の作成技法を身に付ける ・チラシ、定型文書、報告書等をする作成する			○		c: ワープロソフトの使用方法を熟知する。 伝えたい内容を文章と図形を用いてまとめることができる。	授業観察 課題 実技テスト
二学期中間考査まで	情報の表現(図解)	・図解の種類と特性、活用場面を理解する			○		c: 伝えたい内容を文章と図形を用いて適切にまとめることができる。	課題 ワークシート
二学期期末考査まで	情報の表現(画像)	・情報伝達に必要な情報を意識して案を練ることが出来る ・画像を含んだ文章の作成技法を身に付ける			○		c: 画像ファイルの種類と特性を理解する 伝えたい内容を文章と画像を用いてまとめることが できる	実技課題 実技テスト プリント
学年末考査まで	コンピュータによる情報の管理と活用	・身の回りの情報化について意識し、将来を考察する	○	○			a：紙などを使用した情報管理と、コンピュータによる情報管理の違いを考えることができる b: 管理したい情報に適した管理手法を選択することができる	行動観察 ワークシート 筆記テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。